

# 総 括

## 平成15年度にまとめた改善意見と改善取組について

今回の報告は平成15年度にまとめた改善意見に対する改善結果であるが、その改善意見は、これまでのものと異なり、改善達成時期と改善担当部署等を明らかにしていることに特徴がある。

また、これに合わせて、自己点検・評価制度による本学の改善改革促進の仕組みを整えている。このようなことも反映され、改善意見に対する改善取組は、目標、責任感をもって前向きに進められたものと判断される。

## 改善取組状況

### 1 全学的な改善意見（大学改善意見）に対する改善達成状況

全学的な改善事項は、本学の目的・理念、組織編成などの基本姿勢にかかわるものや大学の総合性発揮にかかわるものがほとんどであり、総じて様々な角度から慎重な検討を要する。このような事情もあり、当初の目標を達成しているとは言い難いものもある。

改善事項及び改善担当機関等とその改善達成状況は、以下の表に示すとおりである。詳細については、個々の改善結果を参照されたいが、注目すべきいくつかの事項について取り上げる。

#### ① 「目的・目標の具体化と総合大学としての特長の発揮」

結果としては、「未着手」である。学則で規定している大学の目的及び使命を具体的にイメージさせることが全学的に示すことが非常に難しいことを示している。なお、これと類似の事項として本部の改善事項に「理念・目的の明確化」があり、これに対しては、建学の精神の変遷についての検証がなされたこと、建学の精神を現代的に解釈して「行動指針」として示すことの可能性が報告されている。

#### ② 「学部等の特色を生かした組織編成の再構築」

社会科学系3学部（法学部、経済学部、商学部）に係る教学改善・改革が検討されている。これまで本学においては、学部等単位での検討がほとんどであったことを考えると大きな前進といえる。これが契機となり、それぞれの学部等の特色が明確になることが期待される。

#### ③ 「FD活動の活性化」

本部においては、学務委員会にFDに関する専門委員会が設置されることとなり全学的な推進組織が明確になった。具体的活動は学部等において展開されるが、内容に差はあるもののほとんどの学部でワークショップや講習会などが

継続的に実施されている。

#### ④ 図書館利用環境の整備

OPACシステムについては充実が図られており、全学共通の図書館利用システムについても可能な学部から順次整えられている。また、閲覧室や自習室の24時間利用については、人事・財務面など解決すべき課題が山積しており現実的には達成困難である。ただし、各図書館ともに学習支援のための環境改善に努め、開館時間の延長を実現している。

#### 改善事項及び改善担当機関等とその改善達成状況

改善事項	改善担当機関等	改善達成状況
目的・目標の具体化と総合大学としての特長の発揮	学務部(学務課), 総合企画部(企画課)	未着手
総合大学院の設置	学務部(学務課), 総合企画部(企画課), 研究総合事務室	改善達成
体育学博士課程(仮称)等の設置	学務部(学務課), 総合企画部(企画課)	未着手
学部等の特色を生かした組織編成の再構築	学部長会議, 学務部(学務課), 総合企画部(企画課)	改善取組を実行中
厳格な成績評価制度の全学的導入	学務部(学務課), 財務部(主計課)	改善取組を実行中
単位互換・相互履修制度の積極活用	本部の学務委員会, 学務部(学務課)	改善取組を実行中
FD活動の活性化	本部…学務委員会, 学務部(学務課), 総合企画部(企画課) 学部等…学務委員会, 教務課	改善取組を実行中 (本部)
定員充足率の向上	学務部(学務課, 大学院事務課), 総合学生部(学生生活課)	改善取組を実行中
編入学及び転部・転科・転籍制度の積極活用	学務部(学務課) 学部等の担当部署(庶務課又は教務課)	改善取組を実行中 (本部)
多様な教員の採用と年齢構成への配慮	人事部(人事課, 給与課)	改善達成(一部改善方策を検討中)
教員評価制度の見直し (研究, 教育, 学生指導, 大学行政及び社会貢献等の評価の実施)	人事部(人事課)	改善方策を検討中

組織的プロジェクトによる高度で先進的な研究の実施と研究成果の発信	研究総合事務室	改善方策を検討中
耐震・免震対策及びバリアフリー化	管財部（施設課）	改善達成（一部改善取組を実行中又は改善方策を検討中）
体育施設・学生寮の整備	管財部（施設課）、総合企画部（企画課）、保健体育事務局（庶務課、指導管理課）	改善達成（一部改善取組を実行中）
図書館利用環境の整備	管財部（施設課）、総合学術情報センター（学術情報課）、各学部の図書委員会、図書館事務課	改善達成（一部改善取組を実行中又は改善方策を検討中）（本部）
学術情報ネットワークの全学的活用	総合学術情報センター（情報企画課、システム管理課、学術情報課）	改善取組を実行中（一部改善方策を検討中）
先端的研究活動の社会還元	NUB I C	改善達成
奨学金制度の抜本的な見直し	総合学生部（学生生活課）	改善方策を検討中
就職意識の育成	本部…総合学生部（就職課）、総合企画部（企画課） 学部等…就職指導委員会、就職指導課、学生課	改善取組を実行中（本部）
委員会組織の見直し	総合企画部（企画課）	改善取組を実行中
教育研究事業の総合的展開と財政との調和のための分析・検討の強化	財務部（主計課）、総合企画部（企画課）	改善取組を実行中
第三者評価への積極的対応と自己点検・評価委員の点検・評価能力の向上	大学自己点検・評価委員会、総合企画部（調査課）	改善取組を実行中

改善担当機関等の（ ）内は担当課

## 2 本部及び学部等の改善意見（大学改善意見）に対する改善達成状況

本部及び学部等において掲げられた改善意見の量や内容は様々であり、改善達成状況も学部間での差が大きい。したがって、こうしたことを比較するよりも、類似の課題に対してそれぞれがどのような目標の下にどのような取組を行ってきたかを相互に確認することが、今後の改善に向けて大いに役立つであろう。後述の大項目ごとの総括を熟読願いたい。参考までに全体的な改善達成状況を以下に示す。

未着手…………… 2 %  
改善方策，取組方法を検討中… 17 %  
具体的改善取組を実行中…………… 46 %  
改善取組完了・改善達成…………… 35 %

### 今後の課題

改善達成度を図る上では、「改善達成」が多くあることが望ましいことは言うまでもないが，反対に「検討中」や「未着手」があることが，改善取組の不十分さを表していると単純にとらえることには注意が必要である。改善事項には，すぐに着手しうるものだけではなく，慎重な検討を要するもの，環境整備を要するもの，資源配分のバランスに考慮しなければならないものなど，さまざまな問題が絡む場合が多い。詳細については，個々の改善結果を参照されたい。

また，今回の改善意見の中には，今後の方向性や理想的状態を示しているものも見受けられ，実現可能性という観点からはかなり厳しいものも含まれている。今後は，改善意見をどのように示し，どのような改善を求めるものであるかを明確にし，改善進ちょく状況，改善達成度を的確に測定できるよう配慮することも必要であろう。

しかし，社会の動向，要請にこたえるべく果敢に挑戦し努力し工夫する姿勢は大切である。今回の結果を改善達成度の確認に終わらせるのではなく，他の取組との比較や注目事例の参照などにより今後の更なる改善改革，活性化の契機として活用していくことが必要である。